



2021年2月10日

各 位

会 社 名 豊トラスティ証券株式会社
 代表者名 代表取締役社長 安成 政文
 (コード番号：8747、J A S D A Q)
 問合せ先 専務取締役管理本部長 多々良 孝之
 (TEL.03 - 3667 - 5211)

2021年3月期第3四半期累計期間の連結業績見通しに関するお知らせ

2021年3月期第3四半期累計期間(2020年4月1日~2020年12月31日)の連結業績につきましては現在集計中ですが、決算の概要がまとまりましたので速報値としてお知らせいたしますとともに、前年同期実績と比較して差異が生じる見込みですので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2021年3月期第3四半期累計期間の業績速報値及び業績の差異

(1) 連結

(単位：百万円)

	営業収益	純営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益
当第3四半期連結累計期間速報値 (2021年3月期第3四半期累計期間) (A)	4,243	4,225	333	409	303
前年同期実績 (2020年3月期第3四半期累計期間) (B)	4,445	4,423	482	508	402
増減額 (A - B)	202	198	149	98	98
増減率 (%)	4.5	4.5	30.9	19.4	24.5
(参考) 2020年3月期実績	7,041	7,013	1,470	1,488	815

(注)第2四半期連結累計期間より、当社の主要な事業である商品デリバティブ取引業における貴金属市場に代表される主要商品等が株大阪取引所に移管されたことにより、「金融商品取引業等に関する内閣府令」(平成19年内閣府令第52号)及び「有価証券関連業経理の統一に関する規則」(日本証券業協会自主規制規則昭和49年11月14日付)に準拠して作成しております。この変更に伴い、「営業収益」より金融費用を控除した金額を「純営業収益」として表示しております。また、前年同期及び2020年3月期も同様に作成しております。

2. 差異が生じた理由

連結業績見込み

2021年3月期第3四半期累計期間の我が国経済は、新型コロナウイルス感染拡大により内外需ともに大きく下振れておりましたが、経済活動の再開により12月の日銀短観にて発表された業況判断指数(DI)は、製造業、非製造業ともに2四半期連続で上昇し、輸出は中国向けの増加傾向が続いた他、先進国向けにおいても持ち直しの動きを見せている一方、内需においては、新型コロナウイルスの感染再拡大により入国規制の緩和が難しくインバウンド需要はほぼゼロの状況が続き、個人消費も弱含んでおります。先行きの経済は、新型コロナウイルスの感染再拡大により、各国の活動制限が重石となり輸出の増加ペースは大きく鈍化し、個人消費においても大きく伸び悩む見通しであります。

一方、世界経済は、米国では新型コロナウイルス感染拡大後の経済活動の再開後、12月の米国供給管理協会(ISM)製造業景況感指数は60.7と2年4か月ぶりの水準まで上昇し、企業マインドは改善傾向を維持する一方、個人消費においては新型コロナウイルスの感染再拡大による活動制限の強化による外出の抑制が重石となり伸び悩んでおります。中国では世界に先駆けて経済活動を再開し、経済政策や外需の回復が下支えとなり、回復傾向が持続しております。先行きは米国においては新型コロナウイルスの感染再拡大による経済活動規制や外出自粛ムードの高まりによりサービス消費などの重しになるものの金融及び財政政策の下支えにより緩やかに回復を続けると予想され、中国においては政府によるワクチン開発の強化や徹底した感染者管理により新型コロナウイルスの影響が和らぎ、回復の動きが続く見通しであります。

このような環境のもとで、当社グループの当第3四半期連結累計期間の商品デリバティブ取引の総売買高

1,102千枚(前年同期比12.6%減)及び金融商品取引の総売買高1,167千枚(前年同期比38.5%増)となり、受入手数料4,094百万円(前年同期比3.5%減)、トレーディング損益132百万円の利益(前年同期比29.0%減)となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は営業収益4,243百万円(前年同期比4.5%減)、経常利益409百万円(前年同期比19.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益303百万円(前年同期比24.5%減)となりました。

以 上